

本プロジェクトは、中小規模機関のリポジトリ構築への障壁を除去する共同リポジトリのシステムと運用モデルの改善・構築、および担当者育成を行うことで、共同リポジトリの全国的な普及とオープンアクセスの拡大を目的としています。

Shared Repository, Shared Pleasure

ひろがる共同リポジトリ

C urrent 国内の地域共同リポジトリ (かっこ内:参加機関数)

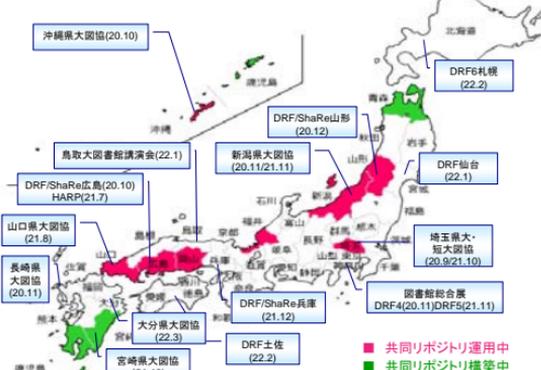
- (山形)ゆうキャンパスリポジトリ (9)
- 埼玉県地域共同リポジトリ SUCRA (8)
- 岡山共同リポジトリ O-AIR (4)
- 山口県大学共同リポジトリ 維新 (9)
- 新潟県地域共同リポジトリ NiRR (15)
- 福井県地域共同リポジトリ CRFukui (10)
- 広島県大学共同リポジトリ HARP (12)
- 沖縄地域学リポジトリ ORION (3)

A ctivity 20-21年度の活動

担当者育成・コミュニティ形成

研修会・ワークショップ開催・事例発表

計19回(2年間)



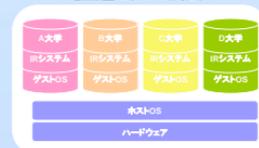
システムモデルの開発・改善

平成20年度

独立型共同リポジトリシステムモデルの構築
VMware Server (Free Software) を用いてCOSレベルで仮想的にサーバを独立させることで参加機関ごとに独立した複数のリポジトリシステムの構築・運用が可能

独立型モデル1(岡山)

独立型モデル2(山口)



共有型モデル

(山形・新潟・福井・埼玉・広島・沖縄)



平成21年度

共有型モデルにおいて必要とする「参加機関の判別」の開発

- ・参加機関ごとのbaseURL設定
- ・参加機関ごとのアクセス統計の取得と、自動メール配信
- ・参加機関ごとの個別画面の開発

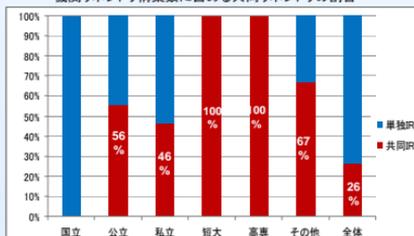
プロジェクト報告書の作成・公開

「共同リポジトリプロジェクト報告書:国内の地域共同リポジトリの分析」を作成・公開(2010.3)
内容(抄):共同リポジトリの特徴・実態調査・運用分析・システム分析・コスト分析
共同リポジトリを介したコミュニティの連携強化・構築運営の課題・展望など

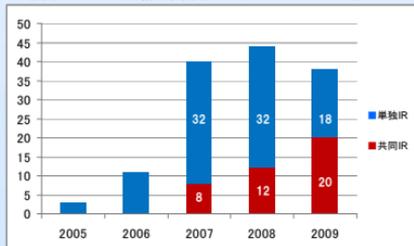
<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/seika/ShaReReport.pdf>

S tatics & analysis 統計と分析

機関リポジトリ構築数に占める共同リポジトリの割合



機関リポジトリ年間構築機関数にみる共同リポジトリの割合



注:上下ともにRDBコンテンツ分析システムより算出(参照:2010/01/31)

運用主体

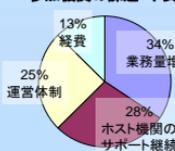
運用主体	参加機関数
大学コンソーシアム	1(山形)
県大学図書館協議会	3(新潟・広島・山口)
県大学図書館協議会+ホスト機関	1(埼玉)
ホスト機関のみ	3(福井・岡山・沖縄)

ホスト機関の役割

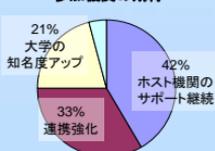
機関	システム管理	参加機関のコンテンツ登録	電子化	広報	研修会サポート
山形	○	○	○	○	○
新潟	○	○	○	○	○
埼玉	○	一括のみ	○	○	○
福井	○	一括のみ	○	○	○
岡山	○	一括のみ	○	○	○
広島	○	一括のみ	○	○	○
山口	○	○ → 一括	○※	○	○
沖縄	○	○	○	○	○

※初期構築時のみ

参加機関の課題・不安



参加機関の期待



以上、共同リポジトリプロジェクト報告書より